

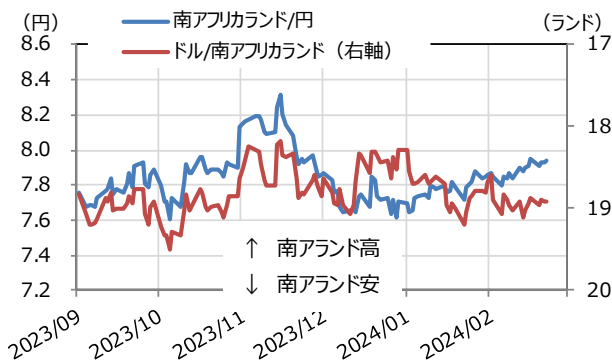
【南アフリカランド】
高金利通貨物色でじり高

【南アフリカランド】

今後1週間の予想レンジ 7.84~8.10円/ランド
過去1週間のレンジ 7.87~7.99円/ランド

南アフリカランドは、1ランド=7.9円台までじり高の展開になった。ドル/円相場は膠着気味の展開になったが、リスクオン環境を背景に高金利通貨や資源国通貨に対する投資家の物色意欲は強くなっており、小幅ながら値位置を切り上げている。昨年11月29日以来の高値を更新している。1月の消費者物価指数は前年同月比5.3%上昇であり、前月の5.1%上昇から上振れしている。直ちに追加利上げの議論が求められるような数値ではないが、昨年10~12月期以降はデysinフレの進展が一服しており、早期利下げ対応は不要であることが再確認できる。高金利通貨としての投資妙味が維持されている。

リスク投資の地合は安定しており、政策金利で8.25%の高金利通貨環境が評価されやすい地合が続こう。日本銀行のマイナス金利解除の時期は近づいているが、今後も大幅な利上げが想定されている訳ではなく、特に対円では高金利通貨物色の流れが維持されやすい。極端なリスクオフ環境、ドル急伸といった動きがみられないのであれば、このまま緩やかな上昇地合が維持されよう。目先は大きなイベントは予定されていないが、8.0円の節目突破が試される見通し。なお、総選挙の開催日は5月29日に決定した。



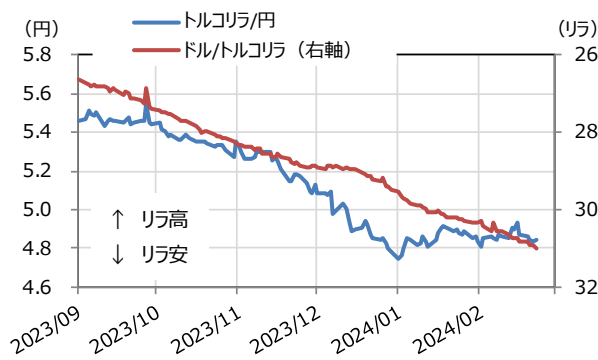
【トルコリラ】
上値の重さが維持される、円安局面でも戻り売り

【トルコリラ】

今後1週間の予想レンジ 4.65~4.90円/リラ
過去1週間のレンジ 4.72~4.91円/リラ

トルコリラは、1リラ=4.8円水準で上値の重い展開になった。米ドル/円相場の上昇が一服する中、リラ/円相場も上値を抑えられる展開になった。円安環境で一時4.9円まで切り返していたが、対ドルではリラのじり安傾向に変化がみられず、ドル/円相場の上昇が止まると、リラ/円相場は買い材料を欠き、戻りを売られる展開になっている。リスクオン環境で高金利通貨を物色する動きが強くなっているが、リラに関しては対ドルと対円の双方で投資対象から外された状態が続いている。トルコ中央銀行などはインフレ鎮静化に自信を見せているが、海外投資家の信頼感を回復するに至っていない。

2月22日にトルコ中央銀行金融政策会合が開催される。まだ根強いインフレ圧力が観測されているが、政策金利は45.00%で据え置きになる見通し。利上げ対応は一巡し、その効果を見極める姿勢に傾斜する。直ちに利下げ対応が可能なインフレ環境にはないが、トルコ中央銀行はインフレ鎮静化による利下げの方向性に自信を見せているが、まだ実際に利下げに着手する時期は不透明。リラ/円相場に関しては、ドル/円相場の上昇局面において若干の上昇余地が認められる程度に留まる。4.65円の直近安値を打診する見通し。



本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保障するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。
Copyright © Marketedge Co., Ltd.

【メキシコペソ】
高金利通貨が選好される地合

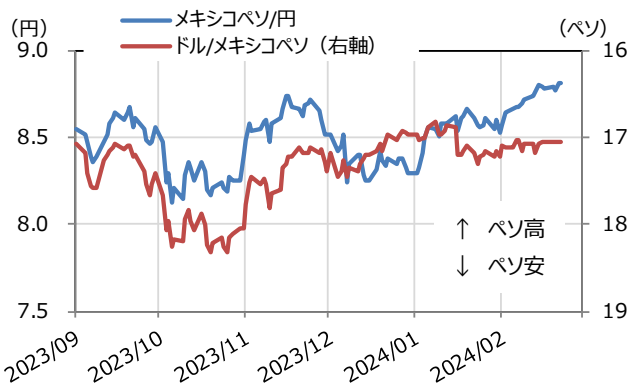
【メキシコペソ】

今後1週間の予想レンジ 8.75~8.95円/ペソ

過去1週間のレンジ 8.75~8.82円/ペソ

メキシコペソは、1ペソ=8.8円台後半まで値上がりする展開になった。昨年高値を上抜き、2008年10月以来のペソ高・円安水準になっている。投資家のリスク選好性が高まる中、高金利通貨が物色されている。メキシコ経済の減速傾向から、メキシコ中央銀行は最短で3月にも利下げに踏み切る可能性がある。ただし、改めてインフレ圧力が強くなっていることもあり、当面は大幅利下げは難しいとみられている。政策金利は11.25%と高水準にあり、多少の利下げを前提にしても、特に対円では高金利通貨としての投資妙味が維持される見通し。

2月22日には10~12月期国内総生産 (GDP) 確定値が発表されるが、前期比では速報値の0.1%増から修正は行われぬ見通し。仮に下方修正が行われると、早期利下げ観測が上値を圧迫する可能性はある。ただし、リスクオンへの地合が大きく崩れないのであれば、高金利通貨としてのペソを物色する展開は維持されよう。チャート環境でも昨年高値を上抜き、トレンドフォローの買いが入りやすい環境になっている。8.9~9.0円水準を打診する見通し。リスクオフ化が下落リスクになる。



【政策金利の推移】

| (%) | 南アフリカ | トルコ | メキシコ |
|---------|-------|-------|-------|
| | | | |
| 2022/01 | 4.00 | 14.00 | 5.50 |
| 2022/02 | 4.00 | 14.00 | 6.00 |
| 2022/03 | 4.25 | 14.00 | 6.50 |
| 2022/04 | 4.25 | 14.00 | 6.50 |
| 2022/05 | 4.75 | 14.00 | 7.00 |
| 2022/06 | 4.75 | 14.00 | 7.75 |
| 2022/07 | 5.50 | 14.00 | 7.75 |
| 2022/08 | 5.50 | 13.00 | 8.50 |
| 2022/09 | 6.25 | 12.00 | 9.25 |
| 2022/10 | 6.25 | 10.50 | 9.25 |
| 2022/11 | 7.00 | 9.00 | 10.00 |
| 2022/12 | 7.00 | 9.00 | 10.50 |
| 2023/01 | 7.25 | 9.00 | 10.50 |
| 2023/02 | 7.25 | 8.50 | 11.00 |
| 2023/03 | 7.75 | 8.50 | 11.25 |
| 2023/04 | 7.75 | 8.50 | 11.25 |
| 2023/05 | 8.25 | 8.50 | 11.25 |
| 2023/06 | 8.25 | 15.00 | 11.25 |
| 2023/07 | 8.25 | 17.50 | 11.25 |
| 2023/08 | 8.25 | 25.00 | 11.25 |
| 2023/09 | 8.25 | 30.00 | 11.25 |
| 2023/10 | 8.25 | 35.00 | 11.25 |
| 2023/11 | 8.25 | 40.00 | 11.25 |
| 2023/12 | 8.25 | 42.50 | 11.25 |
| 2024/01 | 8.25 | 45.00 | 11.25 |
| 2024/02 | | | 11.25 |
| 2024/03 | | | |
| 2024/04 | | | |
| 2024/05 | | | |
| 2024/06 | | | |
| 2024/07 | | | |
| 2024/08 | | | |
| 2024/09 | | | |
| 2024/10 | | | |
| 2024/11 | | | |
| 2024/12 | | | |

本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保障するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。
Copyright © Marketedge Co., Ltd.

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役/商品アナリスト 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。金、プラチナ、原油、天然ガス、天然ゴム、コーン、小麦、大豆、コーヒー、ココア、砂糖、綿花などのコモディティ市場を中心に、金融市場もカバー。主に法人向けのコモディティレポート配信、寄稿、講演等を行う。

E-mail: kosuge.tsutomu@outlook.com

Twitter @kosuge_tsutomu